

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2017年7月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2017年7月7日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 103社
- 回収率 51.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の7月の状況を見ると業況DIは、前月より1.2ポイント悪化の▲4.9となった。

2014年4月以来40ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、卸売業、サービス業の2業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲5.8と当月に比べ0.9ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、製造業、小売業、サービス業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 2017年8月～10月
業況	▲10.6	▲17.0	▲12.8	▲8.1	▲3.7	▲4.9	▲5.8
売上	▲13.5	▲9.0	▲0.9	1.8	5.6	9.7	3.9
採算	▲10.6	▲19.0	▲7.3	▲6.3	▲8.3	0.9	▲5.8
仕入単価	▲26.9	▲32.0	▲32.1	▲33.3	▲31.5	▲27.2	▲25.3
従業員	24.1	24.0	23.0	27.9	25.9	32.1	35.0
資金繰り	▲7.7	▲10.0	▲10.1	3.6	▲3.7	1.9	▲1.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 2017年8月～10月
建設	▲4.0	▲8.7	0.0	7.4	11.6	19.3	19.3
製造	4.1	7.7	7.7	8.0	▲4.2	4.4	▲13.0
卸売	▲33.3	▲35.0	▲29.2	▲25.0	0.0	▲22.7	4.6
小売	▲17.6	▲35.7	▲11.8	▲18.7	▲29.4	▲21.4	▲28.6
サービス	▲5.9	▲29.4	▲35.0	▲21.0	▲5.6	▲16.7	▲27.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は5月中まで稼働率の低いのが続いた。その後一気に増加し全体で120%と前年上回る。今年度は春先より多忙で今のところ昨年より上回っている(建築) ・8～10月頃仕事量増。ただし職人不足(建築) ・新築請負工事の受注が堅調であることから、好調に推移している(建築) ・大卒の採用については大変苦労している(総合工事) ・業績が高まるにつれ、従業員のスキルアップが急務となってきた(設備その他) ・自社技術職員の不足、協力業者技能職員の不足(設備その他)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入価格は上昇しているが、仕事は質・とも順調に推移している。 今後の展開次第で従業員不足等が心配(金属窯業鉄工) ・運送費用の上昇により売上減を予測。JR貨物の問題点が多く(保線など)不安定である(金属鉄工) ・大きなイベントを無事に完了。動員数19,000人以上と次回につなげる結果となった(家具木材) ・景況感は前月以前と大きな変化はなし。訪日外国人に対する対応としてパンフレット等の外国語版作成案件が年初より多くなっている。英語、中国語(繁体・簡体)、ハングル語は以前からあったが、最近では、タイ語マレー語等東南アジアの翻訳ニーズも出てきている(印刷出版) ・梱包費(ダンボール箱等)の仕入UPが考えられる。秋頃に(家具木材)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の業況は前年度と同等である(機械鋼材) ・得意先(取引先)の減少(廃業等)による売上の減少。同業他社価格のダンピングでの競争激化死守しなくてはならない(その他) ・石油製品については、原油価格に大きな変動がなく、当面の間、仕入、販売価格は現状のまま推移するものと思われます(その他) ・専門知識のある従業員の不足(機械鋼材)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・今月よりサマーセール実施。お客様はプライスオフに馴れており、アウトレットプライス及びネットオフセールの50%OFFが当たり前。ブランド商品買取店舗は30%OFFが限界のため売上也プライスオフのため望めず。来店数も普段と変わりなく大変厳しい(衣料品) ・野菜単価下落、メロン物量不足。水産はアニサキス報道により買い控え。売込みが弱くなる(食料品) ・新商品の受注が好調(食料品) ・従業員不足が改善されない(その他)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者が増加により宿泊が好調に推移。料飲については、悪天候により前年割れだが、宿泊が好調だけに業績は好転(ホテル旅館) ・旭川管内のホテル利用客減によりマイナス。経営は人件費増並びに給料アップにより全体でマイナス。今後に期待(理美容クリーニング) ・暑さにより売上は微増だが、店を維持するために必要な経費が年々上昇。特に求人広告費がすごくかさむ。いっその事、人を雇わずに規模縮小したほうがマシ(飲食) ・仕事の変化に合わせて資格の取得や人材の育成が必要不可欠である(その他) ・慢性的な人手不足で大変困っている。7月に入り観光客が増えたと対応しきれない状況になってくる(飲食) ・経営者の高齢化(飲食)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI11.5 ポイント回復、採算 DI15.4 ポイント回復、仕入単価 DI3.9 ポイント回復、資金 DI3.8 ポイント回復、従業員 DI11.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 7.7 ポイント回復となった。業種別では、設備その他 11 ポイント悪化、総合工事 9 ポイント、建築業 30 ポイント回復となった。新築請負工事の受注が堅調であることから好調に推移しているとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI9.3 ポイント回復、採算 DI21.6 ポイント回復、仕入単価 DI11.4 ポイント回復、資金 DI8.7 ポイント回復、従業員 DI8.8 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 8.6 ポイント回復となった。業種別では、食料品、印刷出版、家具木材で横ばい、金属窯業他 22 ポイント回復となった。仕入価格は上昇しているが、仕事の質・量とも順調に推移。今後の展開次第で従業員不足等が心配との声も寄せられている。
卸売業	売上 DI17.6 ポイント悪化、採算 DI0.2 ポイント悪化、仕入単価 DI0.8 ポイント悪化、資金 DI13.4 ポイント回復、従業員 DI3.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 22.7 ポイント悪化となった。業種別では、食料品横ばい、繊維・衣服等 150 ポイント、機械鋼材 40 ポイント、その他 8 ポイント悪化となった。得意先(取引先)の減少(廃業等)による売上の減少との声も寄せられている。
小売業	売上 DI20.2 ポイント回復、採算 DI3.3 ポイント回復、仕入単価 DI9.2 ポイント回復、資金 DI2.1 ポイント回復、従業員 DI0.4 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 8.0 ポイント回復となった。業種別では、自動車 45 ポイント悪化、衣料品、食料品横ばい、その他 67 ポイント回復となった。従業員不足が改善されないとの声も寄せられている。
サービス業	売上 DI 横ばい、採算 DI 横ばい、仕入単価 DI 横ばい、資金 DI5.6 ポイント悪化、従業員 DI11.1 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 11.1 ポイント悪化となった。業種別ではその他 25 ポイント回復、ホテル、運送横ばい、理美容クリーニング 100 ポイント、飲食 33 ポイント、整備業 8 ポイント悪化となった。暑さにより売上は微増だが、店を維持するために必要な経費が年々上昇。特に求人広告費がかさむとの声も寄せられている。